

令和2年度の鳴く虫の会

吉田滋弘（ひとはく連携グループ 鳴く虫研究会 きんひばり）

鳴く虫研究会「きんひばり」は『より多くの人を「鳴く虫が奏でる優美で幻想的な世界」へ誘い、その美しさを知らせ、昔ながらのゆとりある豊かな気持ちを広めていく』ことを目的に、人博の「鳴く虫インストラクター養成講座」の修了生が集い活動をおこなっています。共生のひろばは、他の方の活動を知ることができ、新たな展開につなげることができる場ととらえています。

2020年度はコロナ禍の影響を受け、調査活動ができない状態でした。その中での鳴く虫の会の状況を報告します。

8月の有馬富士での観察会は、コロナ第2波のさなかということで、中止となりました。

9月に入って、第2波が下火になると次の4か所から開催可能の御回答をいただきました。

(1) 人と自然の博物館

主として、屋外での行事になるということで開催を許可していただきました。参加いただいた関学・佐山先生のブログで紹介をいただきました。

(2) 国営あいな里山公園

人数を減らして、参加の御家族ごとに距離を開けての観察会となりました。例年実施しているお茶とお菓子の接待は中止となりました。

(3) やしろの森公園

園内の広場で分散しての観察ができました。好評のイナゴの試食は実施しませんでした。

(4) 姫路市社会福祉協議会谷内支部

稲刈りをして、同時にバッタ取りをするというハードなプログラムでした。

(5) ZOOMによる鳴く虫の紹介

時節柄、ZOOMによる紹介の会をやってみました。ホストが設定してくれた状況下で行ったのですが、手ごたえはありました。自力開催の検討の余地有りと感じました。

いずれの場合も第2波の収束の間に、なにがしかの感染対策を行いながらとなりました。感染者は出ませんでしたし、楽しんでいただきました。開催の是非を含めて、次年度以降どうしていくのかを考えさせられたシーズンでした。観察会に来ていただいた方には好評をいただいています。機会をとらえて、普及活動に取り組んでいきたいと思えます。



図1 やしろの森公園



図2 姫路 谷内地区